

外国人の純流入が増加

人手不足により存在感増す

- 総務省が公表した2016年10月時点の人口推計において、外国人の純流入が過去最高となった。
- 事業者から届け出があった外国人労働者数も初めて100万人の大台を突破、増加ペースが早まる。
- 今後は、外国人の呼び込みとともに、日本の人口の減少を食止めるための政府の施策が期待される。

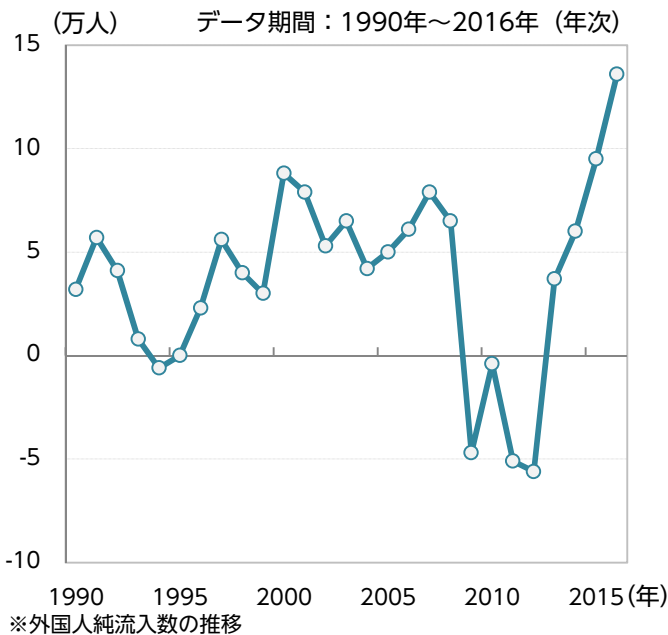
総務省が4月14日に公表した2016年10月時点の人口推計で、外国人の入国者数から出国者数を差し引いた純流入が13万6,000人となり、比較可能な統計がある1950年以降で最大となりました（図表1）。15～64歳の生産年齢人口が急激に減る中、貴重な働き手として外国人の存在感が増してきているようです。今後は医療・教育面のインフラ整備といった外国人材の受け入れ体制の強化が求められるものと思われます。

外国人の純流入は4年連続です。日本人の海外流出をしのぐ規模で外国人の安定した流入が続き、その増加幅も拡大が続いています。また、外国人労働者数も増加傾向にあるようです（図表2）。厚生労働省によると、事業者から届け出があった外国人労働者数は、2016年10月時点で108万人となり、初めて100万人の大台を突破しました。前年よりも2割増えるなど増加ペースが早まっており、中国を筆頭にベトナムやネパールからの渡航が増えるなど出身地域の幅も広がりつつあるようです。労働者のみならずその配偶者らの来日も増加しつつあることから、今後は潜在的な消費の担い手としての期待が高まることが考えられます。

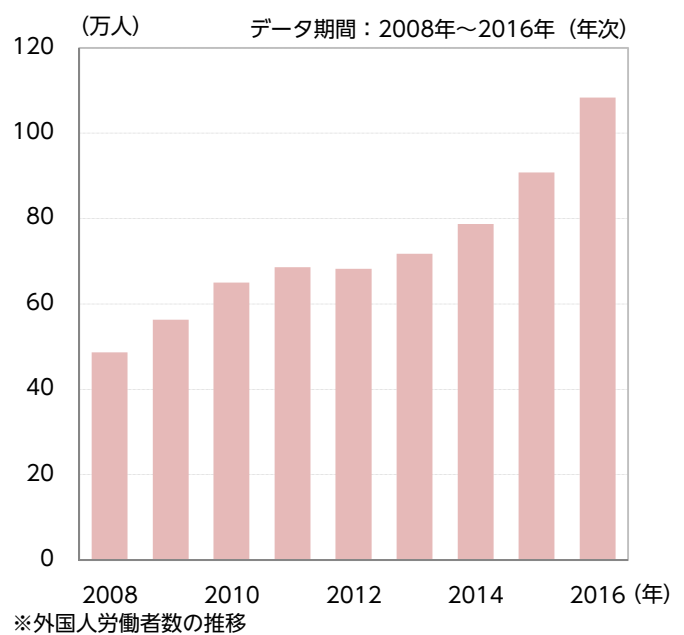
近年、外国人が流入している背景には、緩やかな景気回復とともに、安倍政権の経済対策への期待感があるものと思われます。深刻な労働力人口の減少が続くなか、企業側は外国人登用を積極化しているようです。政府は働き手確保のため永住権を取得できるまでに必要な滞在期間の短縮化を図るなど、優れた経営手腕や技術を備えた高度外国人材の定着を後押しするための施策に動き始めています。

政府は外国人の呼び込みとともに、日本の人口の減少を食止めるための労働市場や雇用制度、子育て支援に至る有効な対策を講じることが不可欠となりそうです。

図表1：国内へ流入する外国人が増加している



図表2：外国人労働者数は100万人の大台を突破



出所：図表1は総務省、図表2は厚生労働省のデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会